

## 他、短編

### 高校の校庭

……見て下さい、この校庭。わかりますか？ ……広いでしょう？ ねえ。普通の学校の、そうです。ねえ、2倍か3倍はあるように見えますよねえ。この辺りの地域ではスポーツが盛んだったんですね。もともと盛んでしたけど、原発ができてからもっと、大きな体育館、大きな練習場、練習施設……。中学校の体育館に、ベンチプレスだのアームカールだのルームランナーだの、ジムのマシン、一式揃ってました。

……改めて、もう一度、見て下さい、この校庭。……何かに気がつきませんか？ ……そうです。草でぼうぼうですねえ。ほとんど地面が見えないくらいです。こんなに立派な校庭なのに、人間の背丈より高い草が、もちろんこの11年でのことです。あれはセイタカアワダチソウです。外来種です。あまりの繁殖力の高さから、侵略的外来種とも呼ばれますが、あの広い校庭を覆い尽くしています。私たちの小さい頃は、ああいうものはなかった。

……もう一度校庭をご覧下さい。私たちが学生の頃は、この校庭はそれは綺麗なもので、雑草の本も生えていませんでした。なぜか？ そうです。運動部がみんな、整備させられてたからです。私は野球部だったんですが、当時はそりゃあもう厳しくてね。水は飲むな！ 休憩中、水を飲むと怒られたんですよ、当時は。だからみんな、ランニングのときこっそり、その……見えますか、あの川の草の陰に隠れて、水をガブガブ飲みました。……それからあそこ。あの、木の茂ってる高台の、さらに上のあたり。前はあそこに大きな山があって、「天王山」なんて呼ばれてたんです。エラーなんかすると「天王山行ってこい！」「ハイ！」、それで、ダッシュで往復ですよ。とにかく厳しかった。

……そうです。私が高校生だったのは、今からだいたい50年くらい前ですから、原発ができたのは、ちょうどその頃です。すべてが様変わりしました。まず川で、水が飲めなくなりました。当時は工場の廃水なんて全て垂れ流しですから、原発ができて、川の水がすっかり泡立ってしまった。もう飲む気にはなれません。これは辛かった。水は飲むな！ そう言われてもこっそり飲んでたのが、もう飲めなくなっちゃった。それから天王山は、なくなっちゃいました。東電さんの社宅ができるとかで、あの小さな山は切り崩されてしまって。これは、逆にラッキーでした。天王山ダッシュがなくなっただけですからね。

それから春夏の大会。東電さんから寄付金があって、毎年、大きなバスが出るようになりました。それで、学校総出で応援に行くようになりました。これは嬉しかった。誇らしかったですね。それで僕たちの学校がホームラン打って、買ったたりすると、地元新聞なんかには必ずこう書かれたもんです。「アトム打線爆発！」……わかりますね？ アトム、つまり原子力ですね、鉄腕アトム……。だから地元高校野球がホームラン打つと、「アトム打線爆発！」。時代ですね。

他にもたくさんありましたよ。アトム観光とかいう観光業者とか、アトムクリーニングとか、アトム寿司なんてのもありましたよね、回転寿司のお寿司屋さんで。アトム寿司は今でも残ってますよ、富岡の方に。アトム観光もまだあったんじゃないかな……。どうでしょう。私はもう、この辺には住んでいないので、よくわかりませんが。

当時は工業科なら、みんな東電に行きました。東電が一位。うちは普通科でしたから違いましたけど。憧れたもんです。東電に行ったやつが、一番最初に車を買って。一番最初に結婚して。一番最初に家を建てて。女の子はみんな東電さんとお嫁に行きたがって……。そういう時代ですねえ。

……そして、もう一度見て下さい、この広い校庭。11年半経って、まだ一切、除染されていません。除染、できないんです。何億円ってかかりますから。大体、家一軒、民家一軒、除染するのに一億円かかるんだそうです。普通の家、一つ除染するのに一億円です。だからこの、広い校庭……。もしかしたら何億円じゃきかないかもしれませんね、10億、20億。だけど、何の使い道も決まっていなくて、そんなお金、使えませんよね。だからほったらかしです。次の使い道が決まるまで、後回しなんです。だからここは、11年半も経って、草がぼうぼう、除染もまだ。

……ええ、思い出しますねえ、高校生の頃。昔は本当にきれいな、草一本ない校庭だったんですよ。さて、それじゃあ次は、海の方を見に行きましょか。……